

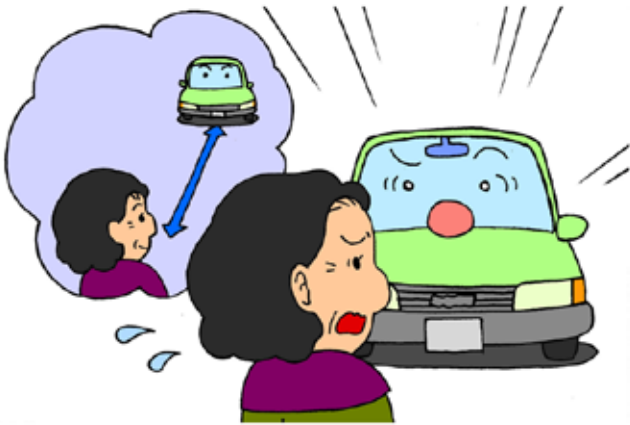
高齢者の死亡事故が多発しています！

今年（今年）の1月1日から8月16日までの福岡県内の交通事故死亡者数86名のうち、約半数の42名が65歳以上の高齢者です。

視力や判断力などの心身機能は加齢に伴って低下します。道路を横断するときは、必ず左右の安全を確認し、無理をせず、ゆとりを持って横断歩道を渡りましょう。高齢歩行者の危険な行動と事故防止のポイントは次のとおりです。

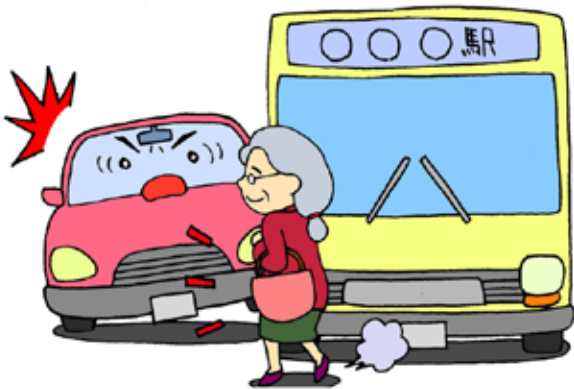
● 車の速度や距離の見誤り

車は遠くに見えていても危険です。車が通り過ぎてから、安全を確かめて横断しましょう。



● 見通しの悪い場所などでの横断

カーブや車のかげなどの見通しの悪い場所や、車の通過直後の横断はやめましょう。



● 信号を無視して横断

通り慣れた道で事故が多く発生しています。油断せず、交通ルールを守り、安全を確認しましょう。



● 斜め横断

近道をしようとして、道路を斜めに横断すると、車道にいる時間が長くなるので、やめましょう。



● 夜、目立たない服装での外出

夜に出かけるときは、明るい服装や反射材を活用し、運転者から目立つようにしましょう。

